

令和5年度 白馬中学校グランドデザイン

学校教育目標

たのし うれし
白馬 われら

令和5年度教育スローガン

『 未来へつなぐ 』

一人一人の命と健康を守って、学びを保障し、将来的な「社会的自立」を目指す。
その上で、「20年後の白馬・地球に貢献できる人、救い手」となれるよう意識して
教育活動を推進する。

切り口

「ICT の利活用」
「SDG s の推進」
「相談支援機能の充実」

重点1 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体化

◇「分からない」を起点に、子どもの思いに応える「対話的で深い学び」

- 子どもにとって必要感のある問いや活動を吟味し、子どもの思いに応じていく。
- デジタルラーニングマップを積み重ね、単元全体を振り返る。
- 一人一公開授業を実施する中で、互いに学び合う。
- I「個別最適な学び」のための「選択」とタブレット端末の利活用。

◆達成目標：授業が概ね分かる生徒（学校評価 90%）

重点2 白馬で遊び、白馬を学び、白馬を創る

◇SDGsの視点で学び、白馬に生きる喜びを実感する。

- SDGsの視点を活かした各教科におけるチャレンジ単元を意識。
- 「しろうま学習」(総合)を充実し、体験型発信型の学習を展開する。
- 夏・冬の職場体験と白馬探究活動を軸にキャリア教育を実施する。
- 奉仕活動・ボランティア活動への参加を勧め、地域貢献活動を充実する。

◆達成目標：白馬に生きる喜びを感じる生徒（学校評価 90%）

特色ある取組

- SDGs推進とチャレンジ単元
 - SDGsサークルへの支援
 - 緊急時のオンライン授業対応
 - HIS との合同授業
 - 岩岳民宿での宿泊(2年)
 - 唐松岳登山(1年)
 - 地域連携と白馬岳登山への参加推奨
 - スケジュール管理(手帳2・3年)
 - 2学期制と学習評価の充実及び手厚い保護者連携
 - SOS早期支援機能の充実(相談フォーム・相談する先生を選択・定期的計画的)
 - すべての生徒の学習保障・・・不登校生徒へのオンライン活用、特別支援学級を4学級として編成など
 - 地域指導者による部活動スキルアップ DAY・地域連携
- ◆達成目標：学校へ来るのが楽しいと感じる生徒（学校評価 90%）

職員研修

- 研究研修部による計画的・定期的な研修の推進
- ICTの活用に重点をおいた研修・授業研究
- 生徒理解、特別支援教育等の子ども理解の充実

触れ合い

- 一人ひとりが位置付き、安心できる学級づくり
- 生徒と教師の信頼感の育成と教育相談の充実
- 学級活動・学校行事を通じた認め合い、支え合い

保護者・地域との連携

- 学校評価・学校運営協議会を生かした学校運営
- コミュニティスクールと地域ボランティア
- 学校だより・HP等による情報発信

本校
生徒の
よさ

- 心優しく素直で真面目に学習に取り組める生徒たち。
- 地域イベントへ進んでボランティア参加できる生徒たち。
- 白馬の自然や文化を愛し白馬の魅力を感じる生徒たち。

保護者
地域の
願い

- 白馬の良さを実感し、地域に誇りを持ち、地域を担う人材になってほしい。
- 生徒一人一人を大事にし、確かな学力と思いやりの心を育ててほしい。
- 開かれた学校づくりを進め、地域への情報発信をきちんと行ってほしい。